2026 年度

公益社団法人 日本雪氷学会北海道支部

研 究 発 表 会

プログラム

日 時	2026 年 6 月 5 日（金）13:00 ～ 17:30
	6 月 6 日（土） 9:15 ～ 16:45
会 場	かでる２・７（北海道立道民活動センター） 520 研修室

発表プログラム（一題 15 分、発表 12 分・質疑 3 分）

【 ６月５日(金)】(520 研修室)

13:00～13:15	支部長挨拶 「2025 年度北海道雪氷賞」表彰式 （北の風花賞・北の六華賞・北の蛍雪賞）	日本雪氷学会北海道支部 支部長 尾関俊浩

【Session Ⅰ】(13:15～17:30)		
《雪氷と社会基盤》座長　杉山慎（北海道大学） / 平野聖晃（北海道大学）		
13:15～13:30	明日は我が身！備えあれば憂い（患い）なし？！ －令和 7 年度・冬道での転倒者を対象としたアンケート調査報告（速報）－	冨田真未　他
13:30～13:45	2025/26 年冬期北海道における大雪イベント直後における積雪断面観測結果　― 札幌圏および北見・中札内の事例とその解析 ―	白川龍生　他
13:45～14:00	2026 年 1 月札幌圏および新千歳空港における大雪時の行動制約と気象条件の対応　― 大雪発生後早期のアンケート調査に基づく分析 ―	山口美里　他
14:00～14:15	流雪溝投雪口の凍結防止策の検討に向けた基礎的調査	小西信義　他
14:15～14:30	複数の定点カメラ画像で学習した AI を用いた車載カメラ画像による視程判別について（その 2）	丹治和博　他
14:30～14:45	積雪寒冷地域の博物館で実施された雪氷実験	平松和彦　他
休憩		
《氷河・アイスコア・結晶》座長　丹治和博（日本気象協会） / 加藤隼天（北見工業大学）		
15:00～15:15	パタゴニア南氷原ピオオンセ氷河での熱水掘削	杉山慎　他
15:15～15:30	南パタゴニア氷原 Pío XI 氷河における 2018 年以降の末端変動と流動変化	平野聖晃　他
15:30～15:45	UAV 測量によるグリーンランド北西部・ボードイン氷河における 2025 年夏期の変動傾向	見米富視　他

15:45～16:00	タジキスタン・東パミール・Kon Chukurbashi アイスコアの年代決定と表面質量収支の復元	近藤ひかる　他
16:00～16:15	溶質の異なるブラインチャネルが氷の曲げ強度と弾性率に与える影響	佐竹壮哉　他
休憩		
《海氷・積雪》座長　小西信義（札幌市立大学） / 見米富視(北海道大学)		
16:30-16:45	氷海航行支援に向けた UAV-LiDAR による高精度海氷観測技術の開発	加藤隼天　他
16:45-17:00	2025/2026 冬季の札幌圏の大雪と岩見沢の少雪－2012、2022、2026 年冬季の比較を通して－	松岡直基　他
17:00-17:15	道路防雪林の成長モデルの作成	原田裕介　他
17:15-17:30	道路防雪林の性能評価に向けた試み	原田裕介　他

懇親会　18:00～20:00

札幌市役所 レストラン ライラック

〒060-0001 北海道札幌市中央区北１条西２丁目 札幌市役所 18 階

参加費　：　学生 3500 円, 社会人 5000 円

支払い方法　：　現金もしくは paypay

【 ６月 ６日(土)】(520 研修室)

【SessionⅡ】(9:15～12:15)		
《氷河・積雪》座長　西村浩一（雪研スノーイーターズ） / 松本大輝 （北見工業大学）		
9:15～9:30	クレータ様地形からの溢流氷河の境界条件	豊山孝子
9:30～9:45	東南極ホノール氷河棚氷におけるカービング要因の解明	田中寛人　他
9:45～10:00	降雪粒子観測と積雪断面の対応に基づく積雪初期構造形成の解析 ― 2025/26 冬期 北海道北見市の観測から ―	大橋康樹　他
10:00～10:15	2025 年～2026 年の冬期に住宅にできた雪庇の観測	植松孝彦

10:15～10:30	気候変動下の北海道における積雪の地域特性：約 50 地点の広域観測結果から	鈴木啓明　他
10:30～10:45	降水量と気温に基づく地上積雪重量の推定方法に関する研究～積雪断面観測で得られた実測値との比較による推定方法の検証	千葉隆弘　他
休憩		
《海氷・雪崩》座長　尾関俊浩（北海道教育大学）/鈴木啓明　（北海道立総合研究機構）		
11:00～11:15	橇型電磁誘導式氷厚計を用いたサロマ湖氷厚の測定精度と全氷厚の経年変動	松本大輝　他
11:15～11:30	船舶カメラ画像を用いた海氷密接度とメルトポンド割合の自動算出手法の検討	長尾碧　他
11:30～11:45	北海道無意根山で発生した大規模な全層雪崩の調査報告	齋藤佳彦　他
11:45～12:00	雪庇と吹きだまりの形成過程と構造の解明に向けて（その 1）	布川大暉　他
12:00～12:15	雪庇と吹きだまりの形成過程と構造の解明に向けて（その 2）	西村浩一　他

―――――― 昼休憩 ――――――

【SessionⅢ】(13:30～16:45)		
《結晶・ハイドレート・雪氷と社会基盤》 座長　的場澄人（北海道大学）　/　大宮哲（北海道開発技術センター）		
13:30～13:45	短冊形多結晶氷の塑性変形に現れる強い温度依存性　―中等理科教育への導入に向けた教材化―	永山昌史　他
13:45～14:00	雪結晶の液相成長説による中谷宇吉郎著「雪の研究」の謎解き	油川英明
14:00～14:15	北海道南部・恵山沖における天然ガスハイドレート調査	八久保晶弘　他
14:15～14:30	海水タンク実験によるフロストフラワー形成時の海水成分の選択的濃縮	的場澄人　他
14:30～14:45	アウトリーチとしての牛乳パックを使った風穴実験	曽根敏雄　他
14:45～15:00	雪だるまマップから見る地域特性と気象学的特徴	坂井優太

休憩		
《雪氷と社会基盤》　八久保晶弘（北見工業大学）／永田泰浩（北海道開発技術センター）		
15:15～15:30	降雪量が類似した多量降雪事例における交通障害の違いに関する一考察―2026 年 1 月 8 日・25 日の札幌市周辺の比較より―	西田浩平
15:30～15:45	自動撮影カメラを用いた夜間の多量降雪評価方法について	永田 泰浩　他
15:45～16:00	昨冬期の転倒による救急搬送状況とウインターライフ推進協議会の活動報告	三原夕佳　他
16:00～16:15	構造物を使わずに地形で制御する吹雪対策「防雪切土」を再考する　― 現地調査に基づく機能評価 ―	金田安弘　他
16:15～16:30	傾斜法による靴の滑りやすさ実験（予備実験）	大宮哲　他
16:30～16:45	マイクロ波放射計における圧雪路面判別の検討	徳本拓海　他